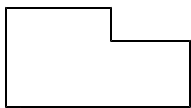


第4学年松組 算数科「広さを調べよう」略案

指導者 佐藤睦子(TM)・佐々木智子(TT)・佐々木由香里(TY)

1. 日 時 1月27日 2校時(9:05~10:05)
 2. ねらい ○ 複合図形の面積の求め方を理解する。
 3. 本時の実際

時 間	主 な 学 習 活 動	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
9:05	1. 問題を読んで、面積の求め方を考える。 右のような形の面積の求め方を考えましょう。  ア 縦に分けて2つの長方形の和で求める。 イ 横に分けて2つの長方形の和で求める。 ウ 長方形と見てない部分を引いて求める。 エ 全く手が付けられない。	- 問題解決に時間を確保するために、シートを配布して導入に時間をかけないようにする。 - 子どもたちに多く目をかけられるように、2列ごとに支援を担当する。 1号車・・・TY 2号車・・・TT 3号車・・・TM - エの子どもには早めに縦に補助線を引いて(かけ算が簡単) 前時の計算を活用できるようにする。 - アからウの子どもには説明ができるようにまとめさせ、スムーズに発表できるように準備に取りかからせる。	終末のアドバイスのために、子どもたちの様子を観察する。
9:18	2. 面積の求め方について話し合う。	TMは求め方の違いが分かりやすいよう板書する。TT、TYは積極的に発表に関わらせるよう拳手を促す。	
9:33	3. 複合図形の面積の求め方についてまとめる。 4. めあてを確認する。 長方形や正方形の面積の公式を使っている面積を求めよう。	はっきり捉えさせるために、「たて切りたし算方」「横切りたし算方」「ひき算方」の3つに分けてまとめる。	様子を見ながらアドバイスをする。
9:40	5. 練習問題を解く。 プリントができた子どもからPRに移動し、センターの先生の問題に挑戦する。	- 本時のねらいを達成するために、1枚の練習プリントを用意する。 - 理解できているかを見届けるために、子どもが丸付けしたプリントに担当者は目を通す。 複合図形の面積の求め方が分かっている。 (シート・発表)	練習プリントができた子どもたちに発展的な問題を出す。
10:00	6. ふり返りをする。	がんばりや満足感を共有できるような発表者を指名するようにする。	発展的な問題や回答などについて紹介したり、アドバイスしたりし、本時の感想を述べる。

